

リハビリや精神面のサポートを行い、日常生活に戻れるように支える。



大野七海さん(1995年生まれ)

知立東高校 出身

中部大学 生命健康科学部卒業

安城更生病院

安城市安城町東広畔28
https://anjokosei.jp/

なるためには

- 必要資格 / 作業療法士
- 主な進路 / 高校卒業→作業療法士の養成課程のある大学に進学→国家試験に合格し、作業療法士の資格を取得→病院に就職

— 学生時代

「勉強とバレーボールに明け暮れた高校生活。当時は特になりたいものもなかったのですが、進路には悩みました。母に『国家資格を取ったら?』と言われ調べるなかで看護師や理学療法士など医療関係の仕事に興味を持ち、最終的に選んだのは作業療法士。高校卒業後、中部大学の作業療法学科に進学しました」

大学時代に学んだことは?

「筋肉の種類や場所、関節など身体についての知識を幅広く学びました。学んだ基礎知識は現場でも役に立っています。起き上がりや移乗の介助などは学生同士で練習しました。ほかにも筋力測定や関節の可動域、感覚の検査など、実践的な授業も多かったです。また、症例の評価の仕方、プログラムの組み方なども学びました。4年次に2回行った2ヶ月間の病院実習は大変でしたが、現場でしか経験できないことも多く、とても勉強になりました」

— 仕事について

「現在は安城更生病院で作業療法士として働いています。高齢の患者さんが多いので、最初は言葉づかいから教わりました。半年間は先輩について仕事の様子を見学しながら、少しずつ任せてもらえる仕事が増えていきます」

現在の仕事内容を教えてください。

「患者さんが日常生活に戻れるように支える仕事です。食事や着替え、入浴、排泄などの日常の動作を中心にリハビリを行い、日常生活を

— メッセージ

「作業療法士として働くには、国家試験に合格し、**作業療法士**の資格を取得する必要があります。養成課程のある大学に進学して、基礎知識の勉強や病院実習を経験してください。私は中部大学という、同じ目標をもった仲間がいる環境で学べてよかったと思っています。ひとりでは勉強するよりも絶対的に効率的です。試験は出題範囲が広いので、みんな得意分野を教えあって勉強しました。その友達とは、いまでも仲がいいですよ。そんな仲間に出会えるのも大学生活の魅力だと思います。ありがとうございます。」

理学療法士との違いとは?

「どちらもリハビリに関わる仕事で混同されがちですが、理学療法士は立つ、歩くといった、身体機能の基本動作のリハビリを中心にしています。作業療法士は、手や指の細かい動作のリハビリが中心で、精神面のサポートなども行います」

— やりがい

「子どもたちから『これになりたいてい』ってずっと思っていたわけはありませんが、作業療法士として働いてみて、すごくやりがいのある仕事だと感じています。患者さんと一緒にリハビリに取り組んで機能が回復していく姿を見るのもうれいんですし、退院後に元気な姿を見せに来てくれる患者さんの存在もやりがいにつながっています」



18歳 国家資格をいかせる仕事を探すなかで、作業療法士に興味をもつ。
22歳 中部大学に進学。国家試験に合格し、作業療法士を取得。
26歳 日々のリハビリを通し、患者さんが元気になる姿にやりがいを感じる。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



「カッコいい地域」をつくりたい。
みんなが帰りたくなる、行きたくなる



柴田佑紀さん (1989年生まれ)

岡崎北高校 出身
南山大学 法学部卒業

合資会社柴田酒造場 / 蔵cafe一合

岡崎市保久町神水39
<https://www.shibatabrewery.com/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→海外生活を経験→日本酒づくりをおこなう企業に就職→魅力的な地域づくりに取り組む

——学生時代

「中学から高校まで野球部に所属し、部活に明け暮れる日々を送っていました。当時は海外への憧れが漠然とあり、大学4年次にはアルバイトで貯めたお金を使って憧れの海外へ一人旅をしました。回ったのは合計20ヶ国くらい。そのときの経験から、仕事でも海外へ行きたいと思い、グローバル展開をしている自動車部品メーカーに就職しました。入社3年目にアメリカへの赴任が決まり、3年間オハイオ州に。実際に自分の目でいろいろな国を見て、海外で仕事をしてきた経験はいまの仕事にもいきっていると感じます」

——仕事について

「学生時代から奥さんの家業が酒蔵であることは知っており、海外勤務終盤に継ぐことを具体的に考えはじめました。3年間の海外勤務を終えたあとに転職して柴田酒造に入社。1年目は、実際に酒蔵で酒づくりを経験しました。酒づくりを覚えながら、同時に自分には何ができるのかを考えて、海外で過ごした経験をいかして海外展開をイチから始めることにしたんです。それまではごくわずかだった海外の売上ですが、徐々に割合も増えてきました」

——仕事のこだわりを教えてください。

「この業界では一般的に、酒米を全国の有名な土地から買って日本酒をつくっています。しかし、せっかく酒蔵の目の前に田んぼがあるので、地元のお米を使った酒づくりを試してみたいと思いはじめました。そ



こで、商品の付加価値を上げるためにも、自分たちで地元のお水を使って酒米をつくり、その酒米で日本酒づくりをすることを会社として決心しました。海外や県外で展開する際に重要なのは、味はもちろんですが、材料に対するこだわりや日本酒が出来上がるまでのストーリーです。また、休耕作地を利用することで地元の課題解決にもなります」

——現在の仕事内容を教えてください。

「私の仕事は『カッコいい地域づくり』です。ここで育った子たちが、『この場所に住みたい。戻ってきたい』って思える地域にしていきたいです。日本酒づくりも、海外展開も、敷地内にある土蔵を改装してつくった『蔵cafe一合』も、その思いに全部つながっています。今後はこの地域にある空き家の活用も考えていて、いつかこの地域を丸ごと楽しんでもらえるようにしたいです」

——やのが

「会社員時代には考えられなかったくらい、自分のやりたいこと、決めたことに挑戦しています。そこにやりがいを感じます。それによって、地域の人や社員のみなさんがよろこんでくれると、さらにうれしい

ですね。『身銭を切ってもやりたい』って思えることに挑戦できる環境にも感謝しています」

——メッセージ

「私が高校生のときに、いまの自分はまったく想像できていませんでした。高校・大学時代はいろいろな場所に足を運んで、いろいろなことを感じてください。大学生のときにそれをやっておいて本当によかったと思います。そして、先を見据えてやりたい、やるべきだと思っただけでは必ず行動に移してください。自分のもっている固定概念や価値観なんて意外と簡単に覆りますよ！」

——ありがとうございます。



インタビュー

22歳 大学4年次の1年間、一人旅をして海外20ヶ国を回る。

24歳 自動車メーカーへ新卒入社し、入社3年目で念願の海外勤務を経験。

32歳 帰国後、柴田酒造に入社。さまざまなプロジェクトを立ち上げ、カッコいい地域づくりに取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



仕事は円滑に進み、
みんなが働きやすい環境を整える。



壁谷乃莉子さん(1998年生まれ)

岡崎商業高校 出身
岡崎女子短期大学 現代ビジネス学科卒業

株式会社近藤製作所 坂本工場

蒲郡市清田町大口3-1
<https://www.konsei.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 簿記検定を取得→高校卒業→短大に進学
- 秘書検定を取得→事務として就職

—学生時代

「岡崎商業高校の情報会計科だったので、簿記を中心に勉強しました。日商簿記2級、工業簿記などの資格を取得することができ、いま事務として働くうえでとても役立っています。卒業後は、岡崎女子短期大学現代ビジネス学科に進学しました」

—大学時代に学んだことは？

「医療事務やCADについてなど、いろいろな分野を幅広く学びました。中でも、役に立っているのはワードやエクセル、パワーポイントなどオフィスソフトの使い方です。んだこと。あとは、秘書検定の対策講座も印象に残っています。マナー講師の先生が試験対策だけでなく、電話対応や来客室の上座下座についてなど現場で使える実践的な知識も指導してくれたので、受講してよかったです。就職活動ではキャリアセンターを利用し、インターンシップに参加したり、いろいろな地元の企業を紹介してもらったりしました。短大卒業後は、産業用ロボットシステムの開発や自動車部品の製造などをおこなう近藤製作所に就職しました」

—仕事について

「最初に任されたのは、電話対応から。仕入れ先から購買部の方に電話をつないだり、機械を導入したお客様の不具合を営業や設計に伝えたりしました。最初は知識もなく、トラブル内容や部品の名前もわからないので、電話で聞いたことをそのまま伝えることも難しかったです。」

—メッセージ



「その都度、先輩に聞きながら知識を増やしていきました」

—現在の仕事内容を教えてください。

「総務の仕事は、営業や設計の方など会社で働くみんなを支えること。毎月決まった業務があるわけではなく、部署と部署、本社と工場のパイプ役になり、仕事は円滑に進み、みんなが働きやすい環境を整えることが私たちの仕事です。たとえば、毎月、従業員の勤怠管理をして情報を本社に送る業務もありますし、納品書や請求書の確認や発行を手伝う業務もあります。今年には、役所とワクチン接種の調整も私がおこないました」

—やりがい

「電話を受けた機械トラブルがスムーズに解決できたときにやりがいを感じます。お客様は早く対応してほしいと思っていますので、設計や営業、現場などへの確認が遅くならないよう、ある程度自分で判断してスムーズに解決できたときはうれしいです。あとは、『ありがとう』という感謝の言葉を社内の方からいただいたときにもやりがいを感じます」



- 18歳 日商簿記2級、工業簿記などの資格を取得。岡崎女子短期大学に進学。
- 20歳 オフィスソフトや秘書検定など幅広い分野を学ぶ。近藤製作所に就職。
- 23歳 縁の下力持ちとして、社員が働きやすい環境を整える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！
<http://amb100search.com>



「学生時代の勉強で役立っていると思うのは、情報処理関係とオフィスソフトの知識です。あとは秘書検定も取得しておいてよかったですね。事務員は、現場の人から社長まで本当に幅広い人と関わる仕事です。いろいろな人と、分け隔てなく明るく接することができる人に向いていると思います。あとは、学生時代の友達を大切にしてほしいです。嫌なことがあっても、相談できますし、一緒に遊んでリフレッシュすることもできます。毎日を楽しんで過ごせるのも友達の大存在が大きいですね。ありがとうございます。」

人と違うことをして、とにかく
お客さんを常に楽しませたい。



岡田茂宏さん(1986年生まれ)

岡崎学園高校 出身
ローザヌホテルスクール 卒業

株式会社SEG JAPAN

岡崎市河原町15-8
<https://www.facebook.com/segjapan/>

なるためには
●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→海外の大学に進学→ホテル業界に就職→経験を積み、ホスピタリティマイスター

— 学生時代

「兄と姉の影響で漠然と海外に憧れがあり、中学卒業後はアメリカに行こうと決めていたのですが、9・11事件で計画が白紙になってしまい、岡崎学園高校に進学しました。高校時代は、アメリカに行くという夢に向けて英語の勉強に励み、東京のスクールにも通いました。卒業後は、念願のアメリカにある南カリフォルニア大学に進学。メディア関係を学びながらホテルで日本人観光客向けの翻訳のお手伝いをしていました。その際にお客さんをよるこぼせることにやりがいを感じたことが、アメリカのホテル業界で働きはじめたきっかけです」

— 今の事業を展開した経緯は？

「やはり日本のホテルのサービスを学びたいと思い、帰国してザ・ペニンシュラ東京というラグジュアリーホテルにアルバイトとして働きはじめました。30歳になるまでにホテルの総支配人になるという目標を立て、29歳のときに東京のHotel Koeというライフスタイルホテルの総支配人に最年少で着任。目標を達成することができました」

— 仕事について

「目標は達成できたのですが、何かポツンと心に穴が空いたような感覚になったんです。これからは自分自身が代表になってお客さんにサービスを提供したいと思い、岡崎に戻ってホテルとレストランのコンサルティング会社を19年に立ち上げました。20年には『岡田ラ



「『私』という名前がキッチンカーも始めました。ホテルで働いていたときと同じように、ゲイという自分のセクシュアリティを全面に出して営業を開始したところ、『岡崎におもしろいオカマがいる!』というおもしろいオカマが集まってきてくれるようになりました」

— 現在の仕事内容を教えてください。

「私の仕事は、いろんなサービスを通してとにかくお客さんを楽しませること。そのためにも雰囲気づくりが大事だと思っていて、SHIGGY(岡田さんの愛称)という自分のオカマキャラがSNSで広がるようにブランディングをしています。現在は、ホテルやレストランなどホスピタリティ業界の運営コンサルティングと、自身の飲食店経営が主な事業内容です。現在は、コロナの影響もあり、飲食店経営のほうに力を入れています。今年の11月には『しぎらぼ』という名前の古民家ビストロをオープンしました。ほかにも、悩みを抱えたLGBTの方のための相談所のようなこともしています」

— やりがい

「やりがいは、お客さんの笑顔と、

『ありがとー』『おいしかったよ』といったお褒めの言葉に感じます。間違っていたなかった、やっていてよかったと思わせてくれるからです」

— メッセージ

「学生のみなさんは、夢をたくさんもって広く浅くでいいのでいろんなことにチャレンジしてほしいです。そのなかで、本当にやりたいことを見つけれればいいと思います。若いときは、たくさん悩んでたくさん痛い経験をしてください。そして、ひとりですみずみ、まわりの人に相談したり頼ったりしてください!」



自分探し

18歳 アメリカの大学に進学し、メディア関係を学ぶ。
29歳 ライフスタイルホテル[hotel koe]の総支配人に最年少で着任。
34歳 岡崎に戻り株式会社SEG JAPANを立ち上げる。「岡田ライス」という名前でもキッチンカー販売をスタート!

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!
<http://amb100search.com>



「おいしそうー!」という
声にやりがいを感じます。



篠原 茜 さん (1985年生まれ)

岡崎東高校 出身
愛知大学 短期大学部卒業

三河サンプル工房

額田郡幸田町
<https://3kawasample.com/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→食品サンプル会社に就職して経験を積む→独立して食品サンプル制作会社を設立

— 学生時代

「昔から図画工作の授業が好きで、よく賞をもらっていました。モノづくりに自信がついて興味をもったのも小学生くらいのことからです。高校時代は、何かに熱中していたということはありませんでしたが、いい友達と出会い、楽しい毎日を送っていました。短大に進学し、就職活動の時期になって思い出したのは、小学生のときの記憶。食品サンプルのスキルを競うテレビ番組を見たことがきっかけで、ショーウィンドウにある食品サンプルを見に行きたことがあります。そのとき、「おもしろそう! こういう仕事をしてみたい」と思っていたことを思い出しました。食品サンプルの会社を調べたなかで、大元の会社は全国に2社しかないことがわかり、そのひとつが名古屋にあったので、そこに募集していないか電話をしたんです。それが食品サンプル業界に入ることになりました」

— 仕事について

「最初に、試作と製造の工程を任せてもらいました。ベテランの師匠からは、おいしそうにキレイに作るだけではだめ。何千個ものサンプルをどれだけ効率よくできるかも重要だということを教わりました。一人前の職人技を身につけるには5、6年かかる業界で、想像以上に大変で辞めていく人たちもたくさんいました…。そんななかでも、あきらめずに続けられたことが技術と自信につながっています」



— その独立されたんですね?

「結婚して退職したのですが、子育てが落ち着いたタイミングで、もう一度食品サンプルに携わりたいという気持ちが出てきました。いつかは独立したいという思いもあったので、33歳のときに三河サンプル工房を設立しました」

— 現在の仕事内容を教えてください。

「現在は、主に食品サンプルの製造に加え、体験教室も実施しています。食品サンプルの製造工程としては、本物の食品をシリコンで埋めて型を作り(型埋め)、型直しをして完成させた型をもとに食品サンプルを制作。できたら色を吹きつけて仕上げます。難しいのは、この色づくりの工程です。まず本物に近づけて色をつくり、そのあとで本物よりちょっとだけおいしそうに仕上げられるよう心がけています。初めから誇張しすぎると色の濃さや透明度が不自然になってしまうんです」

— やりがい

「体験教室の参加者さんから「楽しかった!」という声をいただくのが嬉しいです。自分の作った食品サンプルが飲食店やデパートのショーウィンドウに飾られているのを見

るだけでもうれしいですし、お客様からの「いいものを作ってくれてありがとう」という声や、飲食店の利用者さんの「おいしそう!」という声にやりがいを感じます」

— メッセージ

「資格は特にいりません。特に性別も関係なく、女性もたくさん活躍している業界です。一人前になるには5、6年かかると言われていたので、ひたすら食品サンプルと向き合っていく根気が必要。最近では食品サンプルの専門学校もできていますので、そういう道に進むのもひとつの方法だと思います」

- 18歳 友達と楽しい高校生活を送る。卒業後、愛知大学短期大学部へ。
- 33歳 子育てが落ち着いたタイミングで、三河サンプル工房を設立。
- 36歳 子どものころからの夢を実現し、日々、食品サンプル制作に取り組む。



先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





©NEC REDROCKETS

1年間のスケジュールについて教えてください。
 「10月から4月まではVリーグ期間があつて、そのあひだに天皇杯・皇后杯があります。リーグ戦に向けて、夏場は体を作る鍛錬期。徐々に体への負荷を上げてトレーニングをしていきます。リーグ終了後は、長期休みもあり、来シーズンに向けてリフレッシュする期間です。日々の生活で心がけているのは、睡眠をしっかりすること。あとは、好きなKPOPを聴いてテンションを上げています！」

「試合を通して観ている人たちに持ち味であるチームワークや粘り強さを伝えたいです。みなさん、コロナ禍で少しずつストレスが溜まっていく生活を送っていると思いませんか？」
 「日本代表の招集は、リーグが終わったあとにおこなわれます。その年の国際大会のスケジュールによりますが大会に向けて調整をしていて、最終メンバーが決まります。日本代表は、いきたくてもいけない人がたくさんいる世界。限られた人しかコートに立てないという自覚を

「日本代表として」
 「日本代表の招集は、リーグが終わったあとにおこなわれます。その年の国際大会のスケジュールによりますが大会に向けて調整をしていて、最終メンバーが決まります。日本代表は、いきたくてもいけない人がたくさんいる世界。限られた人しかコートに立てないという自覚を

「挫折と達成感」
 「バレーボール人生を振り返って、一番の挫折は2年前に捻挫をしたときです。ちょうど調子が上がってきたときに怪我をしてしまい、前の年に怪我が出たときもチームの雰囲気や流れに影響が出たという記憶が残っていたので本当に怖かったです。自分自身もつらかったですし、チームに迷惑をかけてしまった後悔もありました。そこからすぐに復帰するのは難しかったので、焦る気持ちを抑えて少しずつ時間をかけてその壁を乗り越えてきました。同じ怪我をしないように

「逆」
 「アンダーカテゴリーの日本代表として参加したバレーボール女子ジュニア世界選手権で優勝したときです。自分のなかで初めて手にした優勝だったのでうれしかったですね。アウェイで海外のノリに自分たちもノセられた部分もあると思います。チームメイトも歳が近い分すごくやりやすかったです。」

山田二千華さん(2000年生まれ)
 豊橋中央高校 出身



12歳 ↓
 ↓
18歳 ↓
 ↓
21歳

中学に入り、バレーを始める。卒業後、推薦で豊橋中央高校へ。
 3年生のとき、キャプテンとして春高に出場。卒業後、NECレッドロケッツに入団。
 日本代表として東京オリンピックに出場。これからも、止まることなく成長をめざす。

©NEC REDROCKETS



©NEC REDROCKETS



三河出身の有名人インタビュー

豊橋中央高校出身のバレーボール選手、山田二千華さんを独占取材!

両親の影響で中学からバレーボールを始め、高校時代はキャプテンとして8年ぶりの春高出場へとチームを導いた山田選手。卒業後は、NECレッドロケッツに入団し、Vリーガーとしてプレー。今年東京オリンピックにも出場しました。何事にも挑戦を続ける山田選手に、結果を残すために大切なことを聞いてきました。

「バレーとの出会い」
 「バレーボールとの出会いは、ソフトバレーをやっていた両親の影響です。小学校までは、バスケットボール部に入っていました。中学生のときにバレーをやってみようと思いい、バレー部に入りました。身長が高かったので長身者強化合宿に参加したりもしましたが、中学から始めた私はあまりに実力が追いつかず、悔しい思いをたくさんしました。そこで挫折せずに、もっとうまくなりたい」という気持ちが芽生え、バレーを続けるモチベーションになっていくと思います。」

「当時はバレーをずっと続けていく」という思いはありましたか？」
 「始めたばかりのころは、まったく思っていなかったです。転期は中学3年で高校を決めるときに、バレーの推薦で高校進学ができたこと。『私のことを認めてもらえたんだ』と思いい、本格的に頑張っていくことと思いいはじめました。」

「高校時代」
 「高校でももちろんバレー漬けの毎日です。特に印象に残っているのは3年生のときで、8年ぶりにずっと目標にしていた春高(春)の高校バレー全日本バレーボール高等学校選手権大会出場を決めたときのこと。いままでも予選の決勝には進むことができていたんですけど、自分の代で春高出場を勝ち取れたことが本当にうれしかったです。3年のときに私はキャプテンを任されて

「Vリーグへ」
 「一般的な流れとしては、高校の大会でいい成績を残してVリーグのチームからスカウトされて入団することがほとんど。私は高校卒業後、NECレッドロケッツに入団しました。入団して感じたのは、Vリーガーたちは頭を使ったバレーをやっているということ。高校時代の私は、調子がいいときも悪いときも、特に何も考えずその場の流れでプレーしていました。でも、調子が悪いときはこれでカバーしようとか、いま自分がやるべきことやできることを探すようになり、そこがブ口になって一番変わった部分だと思います。」

「1ヶ月」
 「東京オリンピックが終わって、日本代表を背負うという責任感も含めて勉強になりました。日本代表と胸を張って言えるほどのプレー、自分の見せ方などを、これからも止まることなくずっと成長しつづけていかないとけないかと思いいいます。高校時代は、みなさんに何事にもトライする姿勢をもっとほしいです。『迷ったらやる』ということを意識してみてください。私もあきらめず常に挑戦しつづけてきたから、いまの自分があると思います。」

「何事にもトライする姿勢をもっとほしい。」「とりあえずやってみる」「迷ったらやる」という意識が大切。」



©NEC REDROCKETS

最先端の技術・知識を用いた船の建造で、
企業の発展に貢献します。



鈴木貴士さん(1995年生まれ)
豊橋工科高校 出身

株式会社新来島豊橋造船
豊橋市明海町22
<http://www.toyozo.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 工業高校で溶接や機械加工について学ぶ→造船企業に就職→全社研修、現場研修を経て各工程に配属

—学生時代

「高校時代はハンドボール部に所属し、1年からレギュラー入りして練習に打ち込む日々でした。ポジションはセンターで、チームの司令塔として活躍。3年はキャプテンとして、みんなの意見をまず聞くこと、そこからチームとして最適な方法を選択していくチームワークを学びました。工業高校の機械科だったので、溶接や機械加工などを中心に学びました。新来島豊橋造船に入社したのは、高校で学んだことが生かせるのももちろん、工場見学で初めて全長200mもある船の建造を見て、本当に人間が造れるのだからかと感動したことがきっかけです」

—仕事について

「入社後は、3ヶ月の研修を受けて、船の建造基礎や社会人マナーなどを学びました。その後、外業課に配属され、班長のもとで基本的な機械の操作方法を教えるようになりました。工業高校出身とはいえ、船の建造は初めてだったので、毎日学ぶことがたくさんありました。造る船は1つひとつ完全オリジナルのため、同じブロック、同じ種類の船でも仕事内容は変わってきます。なので、ひとつの船が完成することに「次はもっと改善して効率よく作業ができるようにしよう!」と考えるよう心がけています」

現在の仕事内容を教えてください。

「私が所属している外業課では、加工部門が造ったパーツを実際に自動溶接機と作業員の溶接で部品や



ブロック同士を組み合わせて船のカタチに制作していきます。船の底から徐々に外枠と積み上げられてカタチになっていくのを見るのはワクワクする瞬間でもあります。配属されてからは、フォークリフトと高所作業者の資格を取得。日々、船の建造に必要な技術や知識を学んでいます。最近では後輩育成にも力を入れており、自分がそうだったようにまずは相手の話を聞いてから教えるように心がけています」

—やりがい

「船を建造するうえでは、お客様との契約で決められた期日までに完成させる必要があります。屋外で作業をしているため、雨や風などの天候にも左右されますし、誰かが休みになるとスケジュール通りに作業が進まないこともあります。それを乗り越えて、完成した船が海に出たときは非常に達成感が得られます。豊橋の工場では、目の前にお客様の自動車運搬船が稼働しているのを見られ、自分が携わった船が社会に貢献していると間近で感じるのもやりがいにつながっています」

—メッセージ

「入社後の新人研修や配属後に適宜必要な資格は取得するため、入社前に必要となる資格はありません。私のように工業高校で溶接や機械加工について学んでおく→入社後の研修はもちろん、その後の仕事でも役に立つと思います。学生時代は、何事も諦めずには挑戦することが大切。最初はあまり興味がないことでも、その過程で好きになるかもしれませんし、挑戦したことが自分の自信になるからです。高校生のみなさんは、自分の可能性を狭めず、何事にも挑戦してみてください。ありがとうございます。」



自
分
の
強
み

18歳 ハンドボールに熱中。キャプテンとしてチームワークを育む。

19歳 株式会社新来島豊橋造船に入社し、先輩から船の建造の基礎を学ぶ。

26歳 花形の外業課で知識や技術を高め、現在は後輩育成にも力を入れる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



さまざまな測定機を使って製品を検査し、
精度の高いモノづくりを支える。



杉浦愛穂さん(2003年生まれ)
鶴城丘高校 出身

株式会社豊田自動織機
刈谷市豊田町2-1
<https://www.toyota-shokki.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→製造業に就職→研修で粉じん作業特別教育や振動工具取扱教育を受ける一品質課に配属

—学生時代

「バレーボール部に所属していて、部活に熱中していました。副部長を務めたことで、部長をサポートするためにまわりをよく見て準備をしたり、積極的に動けるようになったと思います。副部長の経験は、社会に出てからも役立っています。高校では、QC(Quality Control)を勉強したり、マイクロメータやノギスを実習で使ったりしていたので、就職は学んだ知識や技術をいかせる製造業で考えていました」

—仕事について

「豊田自動織機はトヨタグループの原点。歴史もありますし、自分が成長できる環境だと思ひ、挑戦の意味も込めて就職をしました。さらに産休や育休、カムバックしやすい制度が整っていたりと、女性が働きやすい職場づくりをめざしているところにも惹かれました」

入社当初のことを教えてください。

「10日間の研修があり、社会人として基本となる知識を学んだり、現場で作業するために必要な粉じん作業特別教育など、4つの資格を取得することができました。長距離歩行をしたりと、チームワークを高めるための研修もありました。何事も他人事だと思わずに、自分事だと思つて集中して取り組む姿勢の大切さを学べたと思います」

現在の仕事内容を教えてください。

「私の勤める碧南工場ではエンジンを生産しており、シリンダーヘッドやシリンダーヘッド(写真上



—メッセージ

「特に入社する際に必要な資格があるわけではないので、その都度、配属された現場で必要なものを取得していく感じですよ。サポート体制も充実していますし、先輩も頼りになるので安心してください。高校時代は、何事にも挑戦する気持ちが大切ですよ。いままでできること、自分が将来やりたいことを見つけて、それに向かって全力で取り組んでほしいです。あとは、いまやっていること、いまの環境が当たり前だと思わずに、まわりへの感謝の気持ちを忘れな

いてくださいね！」
ありがとうございます。

「もし私が測定ミスをしてしまうと、会社全体だけでなく、お客様にも迷惑がかかってしまいます。責任重大でプレッシャーもあります。精度の高いモノづくりを自分たちが支えているという意識で仕事に取り組んでいます。そのためにも、疑問に思ったことはすぐに質問してメモをとり、測定するときにメモを見返すことを心がけています」

—やりがい

「責任の大きさが達成感にもつながっています。最初は検査できる製品は1、2つだったのですが、徐々にそれも増えていきました。ひとりですべての項目を検査できるようになったときは、自身の成長を感じてうれしかったです」



- 16歳 バレーボール部の副部長を経験。授業でQCなどについて学ぶ。
- 18歳 豊田自動織機に就職。研修後、品質課に配属される。
- 18歳 正確な品質検査を心がけ、精度の高いモノづくりを支える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



金融を通じて地域に貢献をする。
それが信用金庫の役割。



壁谷啓峻さん(1995年生まれ)

蒲郡東高校 出身
愛知学院大学 経済学部卒業

豊橋信用金庫

豊橋市小畷町579
<https://www.toyo-shin.co.jp/>

●必要資格 / 証券外務員・生命保険・損害保険募集人など
※入庫後に取得
●主な進路 / 高校卒業→大学の経済学部に進学して金融について学ぶ→金融機関に就職→営業に配属
なるためには

— 学生時代

「高校時代は軟式テニス部に所属し、3年次は副キャプテンとしてキャプテンをサポートしながら部をまとめました。同じ目標に向かって競い合い、励まし合う仲間の大切さを学ぶことができたと思います」
大学時代のことを教えてください。
「経済学に興味があったので愛知学院大学経済学部に進学しました。当時、経済学部は新設の学部だったため私は1期生。大学ではマクロ経済・ミクロ経済の視点から経済の流れを学んでいくうちに、金融のおもしろさに興味をもつようになり、金融系の研究ができるゼミに所属しました。私は生まれも育ちも豊橋で、幼いころから家族と一緒に手筒花火などの地域のお祭りに慣れ親しんでおり、地元愛が強いほうだと思います。豊橋信用金庫に入庫を決めたのも、大学で学んだ金融の知識を活かしつつ、社会人になっても地域に貢献できるような人間でありたいと思ったからです」
— 仕事について —
「入庫後、2週間ほどは信用金庫の事業内容の説明や電話の応対、お茶の入れ方などのビジネスマナー研修がありました。その後は、支店に配属され預金係として入出金の機械操作や振り込み、定期預金の作り方、融資事務の手續きなどを先輩から教わり、お客様のお金を扱う際の責任感を学びました。2年目からは得意先係として、日々お客様のもとに訪問し活動をしています」



現在の仕事内容を教えてください。
「得意先係として、主に融資活動業務をしています。融資係のときは店頭でお客様の対応をしていましたが、得意先係になってからは法人や個人のお客様のところに訪問をしてさまざまな提案をしています。法人のお客様には、設備投資や運転資金などの融資相談や日々の入出金、税金の支払いなどのサポートをしています。個人のお客様には、定期積金の集金、教育資金、住宅や車の購入資金の相談を行っています。この仕事は、お客様の大切なお金をお預かりしている責任のある業務。常に安心していただけるよう正確な仕事で信頼関係を築くことを心がけています」
— やりがい —
「お金の流れを安定させることで、お客様の事業やライフイベントの問題解決ができた結果、感謝のお言葉をいただけることやりがいを感じます。そのため、お客様に何か相談された場合はすぐに答えられるよう勉強の日々です。現在は、ファイナンシャルプランナーの資格取得に向けて勉強中です」

— メッセージ

「入庫前に必須となる資格はありません。私は就職活動の面接で『入庫前に必要な資格はありますか?』と質問したところ、『特にないので学生時代を楽しんでください』と言われました。入庫後は、各種必要な資格もありますが、職員の間には通信教育で学び、合格後には受験料の補助も出るため、働きながら安心して学べる環境が整っています。みなさんも学生時代は仲間を大切に、部活やアルバイトなど、今しかできないことを思いっきり楽しんでください!」
ありがとうございました。



18歳 テニス部に所属し、3年次に副キャプテンとして仲間の大切さを学ぶ。
22歳 愛知学院大学に進学し、金融について学ぶ。豊橋信用金庫に入庫。
26歳 得意先係として、お客様の事業やライフイベントの問題解決をサポート。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!
<http://amb100search.com>



歯科衛生士の仕事は患者さんの
お口の健康と笑顔を守ることです。



鳥居蘭

さん(1999年生まれ)

西尾東高校 出身

慈恵歯科医療ファッション専門学校 出身

高岡歯科医院

岡崎市法性寺町猿待 88-1

<https://www.takaoka-dc.net/>

なるためには

- 必要資格 / 歯科衛生士
- 主な進路 / 高校卒業 → 養成課程のある専門学校・短大・大学に進学 → 国家試験に合格して歯科衛生士資格を取得 → 歯科医院に就職

——学生時代

「幼いころは虫歯治療によく通って
いました。かかりつけの歯科医院の
みなさんが優しく、子どもだから
歯医者が嫌いということはありません
でした。もともとは医療系を志
望していましたが、母親から『歯科
衛生士なんてどう?』と言われ、専
門学校のパンフレットを見て慈恵
歯科医療ファッション専門学校に
進学しました」

——専門時代について教えてください。

「1年目は座学や模型を使った実技
を通して、歯科治療の基礎を学びま
した。実技は学生同士で患者役と施
術者役を交代し、お互いの口で練習
をしました。2年次から実習が始ま
り、一般歯科や口腔外科、介護の実
務者研修でグループホームにも行
かせていただきました。在学中、学
校に来ていた求人から近所の歯科
医院でアルバイトを開始。治療器具
の準備をしたり、型取りをしたりと
歯科助手として一通りの流れを現
場で学んでいたため、実習も緊張せ
ずに乗り越えることができました」

——仕事について

「国家試験に合格して、**歯科衛生士**
資格を取得し、アルバイト先の院長
からお誘いをいただき高岡歯科医
院に就職しました。入職後は、先輩
のスクーリングなどを見学して衛
生士業務を学んでいます」

——最初に苦労したことは?

「先輩のように患者さんとうまくコ
ミュニケーションがとれず苦労し
ました。患者さんには嫌な思いはし

——メッセージ

「歯科衛生士の養成課程のある専門
学校に進学し、国家資格を取得する
必要があります。私は看護師と進路
を迷っていた時期もありますが、歯
科衛生士の仕事に就いて後悔はあ
りません。1対1で患者さんに向き
合い、主体的に働けるやりがいのある
仕事だと思っています。私は慈恵
歯科医療ファッション専門学校で、
同じ目標をもった仲間と出会うこ
とができました。実習や国家試験の
勉強も励まし合い、就職後も仕事の
悩みなどを相談できる仲間は大切
な存在です」

ありがとうございます。



「虫歯や歯周病の予防と改善のため
にスクーリングや歯磨き指導など
をしています。もともと歯科助手と
してアルバイトをしていたことも
あり、3ヶ月目には歯科衛生士とし
てひとり立ちをしました。最初は、
お口の中の状態がいい方や軽度の
方を担当していましたが、徐々に初
診や歯石が多く付いている方など
にも入るようになりました。磨き残
しが多い方へ歯磨き指導をする際
は、専門職としてどうやったら患者
さんに伝わるのか考えて、一人ひと
りに合わせた指導をしています」

——やりがい

「歯科治療には痛みや不快な音が伴
うことが多いのですが、患者さんか
ら『痛くなかった』『声かけもあり安
心できました』と言っていたいた
ときはうれしかったです。なかには
『次回からもお願いします』とご指
名いただくこともあり、歯科衛生士
としてやりがいを感ずる日々です」



18歳 歯科衛生士を目指して慈恵歯科医療
ファッション専門学校に入学。

21歳 授業や実習で基礎を学ぶ。アルバイ
ト先の高岡歯科医院に就職。

22歳 入職3ヶ月目にはひとり立ちをして、
歯科衛生士としての仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



一人ひとりに合わせた関わりを心がけ、子どもたちの成長と自立を支援する。



小嶋帯頌さん(2001年生まれ)

猿投農林高校 出身
慈恵福祉保育専門学校 卒業

社会福祉法人那爛陀学苑

名古屋市長区大清水3-1003
<http://nalanda-gakuen.com/>

なるためには

- 必要資格 / 保育士資格
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→保育士資格、幼稚園教諭免許を取得→児童養護施設に就職

—学生時代

「みんな仲がいいクラスだったので、文化祭も盛り上がりましたし楽しい高校生活でした。『青春!』って感じですね。母が保育士だったことや昔からボランティアに参加して子どもと接する機会が多かったこともあり、人と関わる仕事に就きたいと思うようになりました。卒業後は、慈恵福祉保育専門学校に進学しました。体験入学に参加し、おもしろい先生が多かったりと学校の雰囲気になれたことが進学先を選んだ決め手です」

「座学では、子どもの成長過程や発達などを学びました。実践的な授業も多く、手遊びなどの実技を学んだり、系列の慈恵幼稚園に行ったり子どもの前で劇を披露したりもしました。いまの職場に就いたきっかけは、2年次の児童養護施設への実習。それまで知らなかった世界で、ネガティブなイメージがあったのですが、実際行ってみるとイメージが180度変わりました。10日間の実習でしたが、子どもと一緒に思い出を作っていく仕事にやりがいを感じましたし、もっとこの仕事を知りたいという思いが芽生えました」

—仕事について

「現在は、児童養護施設『那爛陀学苑』で働いています。児童養護施設はいろいろな事情で親と生活できない子どもたちを養育し、成長と自立を支援する場所です。自分の普通とみんなの普通が一緒とは限ら

—メッセーじ



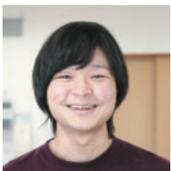
ないので、一人ひとりに合わせた個の関わりを心がけています」

現在の仕事内容を教えてください。

「子どもたちにとって、私たちは『親』の代わりのような存在。本当の家族のような愛情を感じられるように生活環境を作っています。洗濯や掃除などの家事、子どもたちと買い物に行ったり一緒にご飯を食べることも私たちの役割。土日は、遊びに出かけて楽しい思い出を作っています。平日は、子どもたちを起こして、朝ご飯を配膳し、時間がきたら幼稚園や小中学校、高校に送り出します。学校に行っているあいだは、子どもたちの生活の様子や成長をまとめたりと事務仕事を中心。学校が終わったら外へ友達と遊びに行く子もいますし、施設で遊ぶ子もいます。那爛陀学苑は、まさに帰ってくる場所であって『家』なんです」

—やりがい

「まだ1年目なのですが、昨日できなかったことが今日できるようになったり、担当している子どもたちの小さな成長に日々よろこびを感じています。その成長を間近で見られることがやりがいですね」



自分探検

- 18歳 人と関わる仕事に就きたいという思いから、慈恵福祉保育専門学校へ。
- 19歳 子どもの成長過程や手遊びなどの実技を学ぶ。児童養護施設での実習が、職場を決めるきっかけに。
- 20歳 子どもたちの自立を支援し、日々成長していく姿によるこびを感じる。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



「専門学校や短大、大学で学び、保育士資格を取得するのが一般的です。私は、保育士資格と幼稚園教諭免許を取得しました。前提として、子どもの最善の利益を考えられる人でないと、この業界で働くのは難しいと思います。高校時代は、ボランティアなどに参加して人との関わりについて学んでほしいです。いまの職場でも、自分から関わりについて話せないと子どもたちは心を開いてくれません。いろいろな環境に身を置いて、自分からコミュニケーションをとることが大切です。ありがとうございました。」